

美原区 区域まちづくり事業 効果検証シート(令和6年度)

事業名称				実施主体				
美原区ブックスタート事業				美原区役所企画総務課・美原保健センター・美原図書館				
事業目的		事業効果		活動指標		R4	R5	R6
事業内容: 赤ちゃんに絵本を贈呈し、保護者と赤ちゃんに絵本の読み聞かせの実演や、効果の啓発を行う。 事業目的: 4カ月児健診時に実施することで、幅広い保護者に対して赤ちゃんへの絵本の読み聞かせの効用を広く啓発し、絵本を通じた子育てを各家庭で実践してもらうことを目的とする。		親子が読み聞かせにより豊かな関わりを深めることで赤ちゃんの言葉と心の発育が促されるだけでなく、保護者に絵本を通じた子育てを実践してもらうことで、子育て層の図書館利用を促進する。受診率の最も高い4カ月児健診時に実施することで、幅広い保護者層に対する働きかけが可能となり、対赤ちゃん、対保護者とそれぞれに対する効果が見込める。		4カ月児健診時の絵本配布率		98.2%	100%	100%
				絵本の貸出冊数		41,987	41,341	37,102
①妥当性		②協働の視点		③インパクト		④効率性		
○	読み聞かせの効用を区民に等しく啓発し、家庭で実践してもらうため、4カ月児健診を機会に絵本を配布するものであり、行政が実施すべきである。	○	健診時に市民ボランティアによる読み聞かせを実演しているが、当該グループは本事業開催の経緯や事業の意義等を熟知し、他事業でも本市等と連携して積極的に活動を行っており、今後も市民協働による熱心な取組が期待できる。	○	多くの自治体で実施されており、全国的にも浸透した事業である。 【実施率】 ○大阪府内：34自治体 / 43自治体 ○全国：1,512自治体 / 1,741自治体 (R7..2.28時点)	○	4カ月児健診の受診率は例年ほぼ100%で、等しく区民に絵本の配付と読み聞かせの啓発ができるため効率的である。	
⑤自立発展性		総合評価						
△	市民ボランティアとの協働で図書館や保健センターで読み聞かせを実演しているが、配布絵本の調達は行政が行う必要がある。	○	受診率の高い4カ月児健診時に実施することで、図書館や絵本に接する機会の少なかった保護者層に対する働きかけが可能となる。絵本を通じた子育てへのきっかけとして効果は大きく、当該事業を契機に図書館に来館する保護者や、おはなし会に参加する保護者もある。読み聞かせの場は、同年齢の乳幼児を持つ保護者同士の交流のきっかけにもなることから、美原区ビジョン2025に掲げる活動プラン「孤立させないコミュニティ力の強化」に沿った効果も期待できる。					
今後の方向性(課題、改善提案等)								
拡充 継続 見直し 廃止	絵本の配付率は令和4年度98.2%、令和5年度100%、令和6年度100%とコロナ禍も含めて常に高い水準で活動できており、過去に実施した保護者アンケートでの満足度も高く、全国の8割以上の自治体の実施する等、大変ニーズの高い事業である。コロナ禍により、令和2年度から令和4年度までボランティアによる読み聞かせの実施を見送ったが、その間も職員が保護者に対し絵本の読み聞かせとその効用の啓発を行う等、事業の意義を広く伝える取組を継続して行ってきた。今後、絵本を通じた子育ての家庭での実践力が継続的に高まるような取組や、参加者同士の交流の促進につなげる等、多方面からこの事業の意義を意識し、より事業の効果を高める検討を行う。							